

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	民俗芸能の後継者確保を目的とした広報誌の発行事業
事業主体 (連絡先)	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,090,800 円

**事業内容**

昨年に引き続き、伊那谷民俗芸能団体連絡協議会加盟会員に民俗芸能の取組について調査し、民俗芸能誌(下巻)の発行を行った。



【民俗芸能誌(下巻)】

**【目標・ねらい】**

- ①南信州地域の民俗芸能について知っていただく機会とする。
- ②民俗芸能の後継者の確保に繋げる。
- ③民俗芸能の担い手である保存団体会員が相互に取り組みを知る機会とする。

**事業効果**

- ①民俗芸能誌の発行を通して、地域の宝である民俗芸能を知っていただく機会となることが期待される。
- ②民俗芸能の紹介だけに留まらず、保存会の取組や練習日等について掲載した。保存団体の連絡先を掲載することで、民俗芸能に興味を持った地域住民が、活動に参加しやすくなることが期待される。
- ③平成29年9月24日に開催した総会において、民俗芸能誌(上巻)を活用して南信州地域の民俗芸能の現状について報告するとともに、他団体の活動状況について知る機会とすることが出来た。

**※自己評価【A】**

**【理由】**  
昨年に引き続き、芸能団体の取組を紹介することができ、参画団体間の情報共有として活用することが出来たため。

**今後の取り組み**

制作した民俗芸能誌(上巻・下巻)については、南信州民俗芸能団体連絡協議会の総会やセミナー・シンポジウム、パートナー企業、伊那谷民俗芸能団体連絡協議会の会議などで活用し、民俗芸能に対する関心を高めたい。  
また、民俗誌(上巻・下巻)の制作により、担い手不足から存続が危ぶまれる芸能団体が明確にされた。今後は、地区ごとに活発に活動されている芸能団体と存続に困っている芸能団体を交えて、ワークショップを開催し、民俗芸能の存続について検討を進めていきたい。